

授業科目	言語発達学				
担当者	川畑武義				
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 授業目的・内容

- ・ヒトはどのようにして、ことばを獲得していくのか。主な言語発達理論と、言語発達を支える基盤について学んだ上で、子どもがことばを話し始めるまでの道筋を理解していく。
- ・幼児期から学童期の各発達段階における語彙・構文・会話・読み書き能力を含む言語発達の様相について学ぶ。

■ 到達目標

- ・ことばが出るまでの成り立ちを理解し、説明できる。
- ・幼児期から学童期の言語発達の様相および言語獲得過程について基礎知識を習得する。

■ 授業計画

- 第1回 言語発達理論
- 第2回 言語発達を支える発達の基盤
- 第3回 前言語期の発達 (1)
- 第4回 前言語期の発達 (2)
- 第5回 象徴機能の発達
- 第6回 語彙の獲得
- 第7回 語彙獲得を説明する理論
- 第8回 まとめ、象徴機能の発達評価
- 第9回 幼児期の言語発達 語彙・構文の発達①
- 第10回 幼児期の言語発達 語彙・構文の発達②
- 第11回 幼児期の言語発達 語彙・構文の発達③
- 第12回 会話能力の発達
- 第13回 読み書きの発達
- 第14回 子どもの「見る」「聞く」の発達
- 第15回 まとめ 前言語期～読み書きの発達

■ 評価方法

筆記試験100%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

講義内にて適宜、各自で取り組んでもらう課題を出す予定です。

■ 教科書

書 名：標準言語聴覚障害学 言語発達障害学 第3版
 著者名：藤田郁代 監修
 出版社：医学書院

■ 参考図書

書 名：言語聴覚士のための基礎知識 音声学・言語学 第2版
 著者名：編集 今泉敏
 出版社：医学書院

■ 留意事項

新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合があります。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。